

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104548
法人名	吉野有限会社
事業所名	グループホームよしの
所在地	松山市平田町19-2
自己評価作成日	平成22年10月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年10月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「ホームページ http://web.me.com/yoshinoco 」

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>栄養士の資格を持つ理事長が献立を立て、冷凍食品は使用せず、旬の野菜や果物を多く採り入れ事業所で食事作りをされている。朝食は、便通のことも考慮して、必ずバナナと牛乳、味付けのりをメニューに採り入れておられる。調査訪問時、りんごの皮むきをされたり、お盆を拭いておられる利用者の様子がうかがえた。利用者のご希望で、回転寿司等で外食されることもある。お誕生日には、職員がデコレーションしたケーキや、ちらし寿司等のご本人のお好きなメニューでお祝いをされている</p> <p>ほとんどの利用者が、隣接の系列病院をかかりつけ医とされており、病院の看護師の訪問が毎日あり、利用者の健康状態をチェックして、医師の診察が必要な場合は、受診するようになっている</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームよしの

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

吉野毅

評価完了日

平成22年10月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ホームでは事業所独自の理念を設定している日々のケア等を通して職員に伝えている	
			(外部評価) 事業所では「てづくりなふれあい」と理念を掲げて、職員は、日々、利用者との「ふれあい」を大切にされた支援に努めておられる。居間に理念を掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 隣接した医療機関の患者さんや職員などと挨拶を交わしたりする機会が多い。また散歩時にも近所の方と会う機会があり笑顔で挨拶ができています	
			(外部評価) 秋祭りには、御輿と子供御輿が来てくれて、玄関前駐車場で見学をされた。利用者は、子ども達に、お菓子を配られた。事業所周辺を散歩される際には、声かけてくださるご近所の方もいます。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 管理者は、地区の公民館などでの講演の際、ホームの役割などについて地域住民に説明している。ホームページを開設し各種の情報を提供している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 家族の代表や地区の民生委員行政職員を交えた運営推 進会議をホームにおけるサービス向上のために活かせる よう運営している	管理者は、今後さらに「事業所の運営にプラスになる ような会議」にしていきたいと考えておられる。参加 して下さるご家族や地域の方が、率直な意見を出し やすいような雰囲気やすすめ方等を工夫していかれて ほしい。
			(外部評価) 会議は、併設の小規模多機能事業所と合同で行って おられる。事業所からは、行事報告をされたり、事業所 の庭でお花見会をされたこともある。管理者は、運営 推進会議は、現在の事業所での課題等について「有識 者の人に意見を聞く機会」と意義を捉えており、市の 担当者の方や民生委員の方に質問等されている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 法令遵守責任者を定め、法令の理解が困難な場合な ど、その都度行政機関に問い合わせその内容を把握す るよう努めている	市の担当者には、運営推進会議に参加していただき、 ホームで「困っていること」等を報告して意見を求め ておられる。
			(外部評価) 市の担当者には、運営推進会議に参加していただき、 ホームで「困っていること」等を報告して意見を求め ておられる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 御家族から転倒の予防のため安全ベルトの着用の強い 希望があり了解を得た上でベルトを着用するこ になった	利用者の中に落ち着かないような状態の方もあり、事 業所では「利用者の安全を守るため」の施錠や安全ベ ルトの着用は、やむを得ないことと考えて行ってお られる。ご家族にも了承を得ているようではあるが、自 由な暮らしを支援することはグループホームの特徴で もあり、事業所で工夫や配慮できることはないか、こ の機会に法人代表者も含めて話し合ってみてほしい。 拘束をしないケアの実践に向けて、努力を重ねていか れることが期待される。
			(外部評価) 玄関は、電子ロックと手動の鍵で施錠されている。 又、玄関が開くとチャイムが鳴るようになっている。 転倒予防のため、ご家族から強い希望もあり、現在は 安全ベルトを付けておられる方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 管理者はホーム内で虐待が発生しないよう職員への意識徹底に努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 必要性の高い利用者に対し、利用者と家族と行政との間に立ち、その活用について積極的に助言した	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前に、利用者や家族からの質問について面接形式で返答している	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 市役所、国保連合会の連絡先を記載したものを書面で渡しており、その苦情の活用のためファイルにまとめている (外部評価) ご家族には、運営推進会議に順番に参加していただくようにされている。事業所では、ホームページを開設されており、利用者の暮らしぶり等は、ご家族にもパソコンや携帯電話を利用して見ていただくようになっている。ご自宅でインターネットを見ることができないご家族には「ネットカフェ」を利用していただくよう説明されたり、来所時にアルバムを見ていただいている。	現在は、ご家族からご意見や要望を出してもらえることが少ないようである。利用する側であるご家族からのご意見を聞くことは、ホームのケアサービスの質向上への取り組みのきっかけにもなり、今後、ご家族とのコミュニケーション等を工夫してご意見等を引き出していかれてほしい。たとえば、職員の利用者への対応やご家族への情報提供のあり方、利用者の暮らしの環境作り等についても、ご意見を具体的にうかがってみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 介護の現場の中で、ホーム長が意見や提案を聴き問題点には答えるようにしている	
			(外部評価) 職員より、ホームページの中の利用者の様子のわかる写真やブログの中から抜粋したものを印刷してファイルにし、インターネットを見られないご家族に、来訪時に見ていただきたいと提案があり、管理者は、ファイルの作成を検討されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員相互間で注意しあえる雰囲気づくりに努めており、現場内での管理者からの説明も行われる	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修内容に応じて管理者が指名した職員に受講させている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同業の運営者に依頼し、他の施設での職員研修の受け入れを依頼した	
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 緊急な利用開始の場合にできないことが多いが、本人の要望を反映できるように努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>緊急な利用開始の場合にできないことが多いが、家族の要望を反映できるように努めている</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>相談を進めた結果、他の介護サービス利用を勧め、居宅介護支援事業書への橋渡しをしたことがある</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのその日の状況に応じて家事等を共に行い支え合えるような状況を築いている</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族も介護資源の一つととらえ、通院介助等をお願いすることで、疎遠になりがちな家族関係の再構築に尽力した</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>緊急な利用開始の場合にできないことが多いが、要望があれば利用開始前に遊びに来て頂ける機会を設けている</p> <p>(外部評価)</p> <p>月に1度、ご自宅に戻ってご家族と過ごされたり、ご家族と外食に出かけられる方がおられる。又、お孫さんと文通をされている方がおられ、ご本人が書いた手紙を職員がポストへ投函してサポートされている。孫が散髪に来てくれる方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 気の合う方向士が交流し易いよう座席等配慮している	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 終了後の利用者の方の安否について協力医療機医師に確認し、機会があれば利用できる旨を伝えてもらっている	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) アセスメントを実施し把握に努めているまた日常会話からも思いや希望を伺うこともある	
			(外部評価) センター方式のアセスメント表を用いて、入居時にご家族にも記入していただいている。入居後に得られた情報は、その都度書き足していくようにされている。職員は利用者に寄り添い、ご本人の思いの把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントを実施しその人そのひとの暮らしの歴史、暮らし方等の把握に努めている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) アセスメントを実施しその人そのひとの暮らしの歴史、暮らし方等の把握に努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>御家族の訪問の際ケアへの方向性を伺い計画に反映しているまた各職員の意見や気づいた点を収集し介護計画に反映している</p> <p>(外部評価)</p> <p>計画は、3ヶ月に1度見直しをされている。計画には、「ご本人の希望」や「支援してほしいこと」を記入して「ご本人がよりよく暮らせるための支援方法」について検討して、管理者が介護計画を作成されている。モニタリングは、随時職員が行い、日々の経過記録に記入するようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者の指示のもと、各種記録物の作成、介護計画の立案を配慮した内容にしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者家族の急用時に唐突な依頼にもスムーズに対応し感謝された事が有る</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議の開催、行事、各種訓練などの際、地域の様々な方の力を借りて実施しているのが現状である</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者と協力医療機関とで、かかりつけ医に対して 適切な医療が受けられるよう連絡調整した</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ほとんどの利用者が、隣接の系列病院をかかりつけ医 とされており、病院の看護師の訪問が毎日あり、利用 者の健康状態をチェックして、医師の診察が必要な場 合は、受診するようになっている。その他の医療機関 の受診はご家族が同行するようになっている。調査訪 問時、ご家族と一緒に受診に外出される利用者の様子 があった。訪問歯科や訪問マッサージを利用される方 もある。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームと協力医療機関間に内線電話を引き気軽に相談 できるような環境を整えている</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>在宅から救急車で運ばれた利用者に対し、管理者と協 力医療機関医師が搬送病院に働きかけ、早期退院を現実の ものとした</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>在宅から救急車で運ばれた利用者に対し、管理者と協 力医療機関医師が搬送病院に働きかけ、早期退院を現実の ものとした</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>早い段階からの話し合いはなされていない</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>早い段階からの話し合いはなされていない</p>	<p>利用者を最期まで支援する事業所でもあり、職員の勉 強の機会を設けたり、ご本人の終末期のあり方の希望 やご家族の協力等について話し合ったり、又、ご家族 の不安や心配ごとを聞き取るような機会も作ってみて ほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所では、入居時に「希望があれば事業所での看 取りが可能である」ことを説明されている。昨年、身寄 りのない利用者の最期を、隣接病院と協力し支援され た。理事長は、終末期のことを利用者がお元気な間に お聞きすることには抵抗を感じておられ、ご本人の状 態が思わしくないような場合に、今後のことについて 話し合いをされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルがあり各職員が対応できる様にしている	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 管理者はホームのすぐ近くに生活している職員に対し、緊急時には駆けつけてもらえるよう要請している (外部評価) 10月初旬に消防署の協力を得て、利用者も全員参加して、併設する小規模多機能事業所と合同で1階のグループホームの台所からの出火を想定した避難訓練が行われた。消防署の方には、4月に設置した自動通報装置の使い方等も教えていただいた。事業所では、避難経路確保のため、テラスにスロープを付けたり、夜間避難時に備えてセンサーライトも取り付けられている。理事長は「まず、火災を起こさない」ことを心がけて「ガスコンロを安全性の高いもの」に取替えられた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 管理者は、尊厳有るひとりの人間として利用者に接するよう、常日ごろから職員に対し注意喚起している (外部評価) ホームページへの利用者の写真の掲載については、入居時にご家族に説明し同意をいただいている。調査訪問時には、利用者を「おばあちゃん」「ちゃん」と呼ぶ職員の声や利用者「～して」と話しかけている職員の声が聞こえてきた。	利用者との関係性の上での呼びかけ方等であると思うが、利用者に対しての言葉かけや対応についてこの機会に全職員で話し合ってみてはどうだろうか。又、居室の出入り口は「利用者の希望」で開けておられるが、プライベートな場所でもあり、それぞれに配慮できるよう工夫されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々のコミュニケーションを大事にしている 必要な物がある場合には一緒に買いに行き自分で選べるような支援をしている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 今日は体調が悪いから少し休みたいという方にはいつもより長く休んで頂けるよう支援している	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 化粧品が欲しいという方と一緒に買い物に行き希望の商品を購入して頂いた。安く理容を受けてもらうため、2ヶ月に1回程度訪問理容の業者をお願いし散髪してもらっており、望む店には行けていない	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備は、持っている力を発揮できる一つの機会であると考え、できる事は協力してもらうことで生活に張りを持ってもらえるように努めている (外部評価) 栄養士の資格を持つ理事長が献立を立て、冷凍食品は使用せず、旬の野菜や果物を多く採り入れ事業所で食事作りをされている。朝食は、便通のことも考慮して、必ずバナナと牛乳、味付けのりをメニューに採り入れておられる。調査訪問時、りんごの皮むきをされたり、お盆を拭いておられる利用者の様子がうかがえた。利用者のご希望で、回転寿司等で外食されることもある。お誕生日には、職員がデコレーションしたケーキや、ちらし寿司等のご本人のお好きなメニューでお祝いをされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 主治医、栄養士と相談し対応している	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔状態が特に気になる方には毎食後口腔ケアを実施している。最低でも就寝前に口腔ケアの声かけを行ってもらっている。独力でできない人には介助し実施している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 入居時はおむつを使用していたが職員の声かけとトイレ誘導を行うことでリハパンに変更しトイレでの排泄が習慣になってきている	
			(外部評価) 利用者が「そわそわしているような排泄サイン」を見逃さずにトイレ誘導するよう支援を重ねて、現在、オムツを使用する方はおられない。リハビリパンツを使用しているが、自立されている方もおられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の献立を多くしたり、協力医療機関とも連携をとりながら、適切な便秘予防を実践している	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 外来受診時と重なるときには曜日を変更しゆっくり気兼ねなく入浴できるようにしている	
			(外部評価) 基本的には、2日に1度、午前中に入浴していただくようになっている。職員は、利用者に気持ちよく入浴していただけるよう、ボディソープをよく泡立てて使用されたり、香りのよいシャンプーやリンスを使用する等されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 馴染みの枕や布団を使用し安眠できるようにしている状況、希望に応じて冷暖房をつけている	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の処方箋を確認している 管理者と協力医療機関関係者が連携しながら、適切な服薬が行えるよう援助している	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) お話が好きな方には積極的に話しかけ他者とも楽しく過ごせるよう支援している	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望があった時は時間を見計らい応じているそれに合わせ他者も一緒に戸外に出るきっかけになっている (外部評価) 調査訪問時、帽子をかぶり職員とともに散歩に出かけられる利用者の様子がうかがえた。月2回、パンの移動販売があり、利用者は事業所の敷地に出て、好みのパンを購入されている。ご希望で近くのスーパーやコンビニで買い物される方もある。たい焼きを食べに外出されたり、坊ちゃん劇場で観劇を楽しまれたこともある。週2回、処置のため隣接の病院に行くことを楽しみにされている方もある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 御家族相談の上、ホームで現金を預かっている方でもレジの支払いの際など一緒に支払えるよう援助している	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 管理者は、利用者からの要望に応じ、暑中見舞いのはがきの手配などを行い、返信などは声かけしながら手渡ししている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間は清潔に保たれており、居心地の良い空間となっている 共有空間の壁面には季節毎の飾り付けをしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間の一角にソファを設置し、調査訪問時には洗濯物をたたんだり、入浴後ご自分で髪をドライヤーで乾かしておられる方もみられた。ガラス窓からは、中庭のお地蔵様やハーブ園が見える。事業所では、転倒防止も含めて、車いすを使用しておられる利用者が多く見られた。外から車椅子で事業所内に入る前には、玄関でタイヤを雑巾で拭くようにされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ソファで気のあった方同士がお話するのをよく見かける 皆と一緒にいたくないが、部屋で独りぼっちも嫌な状況下に有る利用者の方が、くつろげるような場所がある</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>以前利用していた机、タンスを持参され見慣れた以前と変わらない光景で安心して過ごされている 御本人の馴染みの持ち込みを促し、その人らしい環境づくりに配慮している</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、ご家族が来られ、居室で利用者と一緒に過ごされる方がおられた。ご希望で、居室内にご自分の洗濯物を干しておられる方もある。昼食後、ベットに横になりラジオを聞く方や、週に2回、ボランティアの方と居室でお好きな将棋や囲碁を楽しまれる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>入居間もない方に居室が一目で分かるように目印をつけ混乱を防いだ</p>	